

# 消すまでは 心の警報 ON のまま

## 消防かわら版

平成25年10月

秋の火災予防運動

### 秋の全道

### 火災予防運動

十月十五日～三十一日まで

夕暮れが早くなり、ひと雨ごとに秋の訪れを感じる季節となりました。これからのは、風が強くなり、空気も乾燥するため、火事が起きやすくなります。



登別消防  
火災予防キャラクター  
ばん平くん

断火事を予防するには、油断しないことが肝心です。毎日の火の用心を忘れずに行い、のぼりべつから火事を無くしましょう。

## 電池切れに注意しましょう

住宅用火災警報器

### 電池の寿命に注意!

住警器がいざという時に正常に作動するように、定期的に点検用のひもやボタンを使用して住警器の点検を行いました。

「点検を試してみたら音が鳴らなかつた」

「火事などの異常がないのに警報音が鳴る」

このような状態は電池切れや故障の可能性

があります。取扱説明書にて対処の方法を確認してください。

わたしたちの街の  
安心と安全をつくる  
住宅用火災警報器



### お手入れも忘れずに

異常を感知する部分にゴミがついていたら正常に作動しない可能性があります。いざという時に正常に作動するように、日ごろからお手入れを行いましょ。 ※住警器は天井や壁の高いところに設置します。点検やお手入れの際は転倒事故に注意してください。

### 住宅用火災警報器は

必ず設置しましょう

消防法により住警器の設置は義務化されています。住警器は火災を初期のうちに発見し被害を最小限に抑えることができず。あなたと家族の生命と家財を守るため、速やかな設置をお願いします。



火事と救急は119番 火災等の情報案内は88-1515番

登別市消防本部・登別市消防署

85-9611

85-2551



# 石油ストーブを安全に使いましょう

**災害対策用品として  
実用性が人気に**

石油ストーブは暖を取りながら同時にお湯を沸かすといった利用法から東北地方太平洋沖地震以降、災害対策用品としての人気も高まりました。また昨年十一月に登別を襲った大停電では電氣を使用しないポータブルタイプを買い求めた方も多いかと思えます。

**便利な石油ストーブを  
安全に使うために**

正しく使えば安全で快適な石油ストーブですが、誤った使用方法は事故や火事を招きます。使用する時は取扱い説明書を良く読み、また次のことに注意しましょう。



**ストーブの周りには  
燃えやすいものを置かない**

燃えやすいものはストーブの周りに置かないでください。スプレー缶なども破裂の危険があります。上に洗濯物を干すのは大変危険です。のでやめましょう。



**灯油以外の燃料は  
絶対に使わない**

灯油以外の燃料は危険です。絶対には使用しないでください。また変質灯油や水やごみなど不純物が混ざった灯油も使用しないでください。



**ポータブルストーブの給油は  
必ず火を消してから行う**

タンクへの給油は必ず火を消してから行ってください。灯油がこぼれていたり、燃料キャップが外れると火が燃え移り大変危険です。また、タンクを本体に装着した時に燃料が過剰に供給され火事につながる恐れがあります。



**1時間に1〜2回は  
部屋の換気を行いましょ**

ポータブルストーブは室内の酸素を利用して燃焼しています。室内の酸素が不足すると不完全燃焼を起こして一酸化炭素中毒になる恐れがあります。使用中は1時間に1〜2回換気をして新鮮な空気を補給してください。